

令和6年12月25日
愛媛大学

令和6年度 四国 ME シンポジウムを開催 ～IMSS が拓くデジタル社会のインフラメンテナンスを体感し語り合う～

現在の豊かで安全な社会を支えている社会基盤(インフラ)の老齢・老朽化問題に対処するため、膨大なインフラのメンテナンスが必要とされています。しかし、社会の人口減少に伴う技術者の激減や技術伝承の困難は、地方のインフラが維持できなくなる日を早めています。その危機的状況を打開するために、近未来のインフラメンテナンスの姿としてデジタル技術との並走が必要とされています。

愛媛大学では、平成26年度から「社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)養成講座」を開講し、257名の四国MEを育成しています[HP <http://www.cee.ehime-u.ac.jp/me/>]。

令和5年度からは、内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム(第3期SIP)の課題9「スマートインフラマネジメントシステムの構築」の中のサブ課題C「地方自治体等のヒューマンリソースの戦略的活用」の研究事業に参画し、教育用デジタルプラットフォーム(IMSS: Infrastructure Maintenance Smart Simulator)の開発と社会実装に取り組んでいます。

本シンポジウムでは、その研究活動の一端として“IMSS が拓くデジタル社会のインフラメンテナンス”を体感し、パネルディスカッションで未来のインフラメンテナンスについて語り合います。

つきましては、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

記

日時：令和7年1月10日(金) 13:15～17:00

会場：愛媛大学南加記念ホールおよびWeb オンライン(実況配信のみ)

主催：愛媛大学防災情報研究センター

共催：愛媛社会基盤メンテナンス推進協議会、四国MEの会、CTB-ehime ほか

プログラム：※詳細は別紙の会告をご参照ください。

13:15～13:25 開会挨拶

13:25～14:25 講演～デジタル社会におけるインフラメンテナンスの姿～

14:40～15:45 IMSS 体感イベント(橋梁VR点検学習)

15:45～16:50 ディスカッション

～IMSSを俎上に考える未来のインフラメンテナンス～

16:50～17:00 閉会挨拶

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学防災情報研究センター 山本、新門

TEL:089-927-9021

Mail:kensien@stu.ehime-u.ac.jp

※送付資料3枚(本紙を含む)

令和6年度 四国 ME シンポジウム
～IMSS が拓くデジタル社会のインフラメンテナンスを体感し語り合う～

現在の豊かで安全な社会を支えている社会基盤（インフラ）の高齢化が進み、老朽化に対処するためのインフラメンテナンスの重要性が認識されて久しい。また、少子化等による人口減少問題は建設技術者の激減と技術伝承の困難をもたらし、特に地方のインフラが維持できなくなるリスクは拡大し続けている。そのような危機的状況を解決するためには、近未来のインフラメンテナンスの姿として、デジタル技術との並走はまごうことなき進むべき方向である。

愛媛大学では、令和5年度から、第3期 SIP（内閣府；戦略的イノベーション創造プログラム）の課題9「スマートインフラマネジメントシステムの構築」のサブ課題C「地方自治体等のヒューマンリソースの戦略的活用」の研究活動に参画し、教育用デジタルプラットフォーム（IMSS：Infrastructure Maintenance Smart Simulator）の開発と社会実装に取り組んでいる。IMSSは様々な立場の技術者が、例えば、地方の行政職員が時間や場所に制約されずにインフラの点検から診断と対策までの技術をわかりやすく学ぶ機会を提供し、さらに ME 養成講座の汎用化、効率化、高度化を達成することも目的とされている。本シンポジウムは、その研究活動の一端として、“IMSS が拓くデジタル社会のインフラメンテナンス”を体感し語り合う場とするものである。

主 催：愛媛大学防災情報研究センター

共 催：愛媛社会基盤メンテナンス推進協議会、四国 ME の会、えひめ建設技術防災連携研究会（CTB-ehime）、インフラメンテナンス国民会議インフラメンテナンス市区町村長会議四国ブロック（予定）

協 力：社会資本の整備及び維持管理等に係る人材育成コンソーシアム

日 時：令和7年1月10日（金）13:15～17:00（受付 12:45～）

会 場：愛媛大学南加記念ホール（Web オンラインによる実況配信も予定）

参加者：四国 ME、インフラメンテナンスに関わる全国の建設技術者、SIP 関係者および一般

定 員：会場 230 名 CPD、CPDS プログラム（会場参加者のみ対象）

参加費：無料

参加申込：次ページをご覧ください。

プログラム：※敬称略

司会 愛媛大学大学院理工学研究科 助教 横山勇気

13:15～13:25 開会挨拶 愛媛大学大学院理工学研究科 教授（工学系長） 森脇 亮

13:25～14:25 講演～デジタル社会におけるインフラメンテナンスの姿～

「第3期 SIP 課題9 スマートインフラマネジメントシステムの構築が目指す未来（仮）」

北海道大学大学院工学研究院 教授 長井宏平

「教育用デジタルプラットフォーム（IMSS）の構築と社会実装への挑戦（仮）」

愛媛大学大学院理工学研究科 教授 河合慶有

「3次元モデルと AI が変革させるデジタルツイン社会のインフラメンテナンス（仮）」

東京大学大学院工学系研究科附属総合研究機構 特任准教授 全 邦釘

14:25～14:40 休憩

14:40～15:45 IMSS 体感イベント 進行 愛媛大学防災情報研究センター 特定教授 山本浩司
「IMSS の機能紹介」
「IMSS による橋梁 VR 点検学習」

15:45～16:50 ディスカッション～IMSS を俎上に考える未来のインフラメンテナンス～
モデレーター：河合慶有（愛媛大学大学院理工学研究科 教授）
パネリスト： 木下幸治（福岡大学工学部社会デザイン工学科 教授）
渡邊学歩（山口大学創成科学研究所 准教授）
藤田博史（国土交通省四国地方整備局企画部 事業調整官）
明日俊幸（愛媛県土木部技術企画室 主幹）
片山直道（第一コンサルタンツ, 四国 ME の会会長）
&会場参加者, 四国 ME, IMSS 体験者

16:50～17:00 閉会挨拶 ※調整中

18:00～ 意見交換会 会場未定

申込方法：申込フォーム <https://forms.gle/355qEisVL1fRhD4u7>
一人ずつ登録ください。

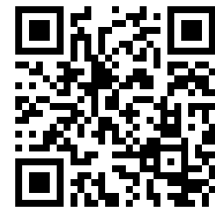
右の QR コードでスマホからも登録できます。

意見交換会：合わせてお申し込みください。

参加費 5,000 円（予定）、松山市内 18:00～

申込期日：12 月 25 日（水）、定員になり次第、締め切ります。

問合せ先：TEL/FAX 089-927-9021 または Email kensien@stu.ehime-u.ac.jp



（その他）

- ・学内の駐車場は利用できません。公共交通機関又は近隣の駐車場をご利用ください。
- ・本シンポジウムは、土木学会 CPD 単位および全国土木施工管理技士会の CPDS ユニットの認定行事です（申請中）。単位認定をご希望の方は申し込み時にご連絡ください。後日、受講証明書等を送付いたします。